

12月の果実の見通し

品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
みかん類	29,766	105	34,445	264	94	231	-	-	愛媛、和歌山、長崎、熊本、静岡産中心で全体の9割を占める。早生は12月上旬終了で中旬からは「青島」などが出回る。愛媛はL玉中心で肥大大きく食味も良好。長崎、熊本は着果・肥大状況とも良好。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。
りんご類	6,678	90	7,108	249	130	237	937	14.0	青森、山形、長野、岩手産中心の入荷となる。品種はふじが約8割を占め、ジョナゴールド、王林なども出回る。青森のふじは11月末から本格化し若干小玉傾向で36・40玉中心となるが、食味は良好。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
いちご類	2,851	110	3,112	1,600	90	1,528	0	0.0	栃木、福岡、茨城、佐賀産中心の入荷となる。全体に生育は順調だが、気温高で着色先行でやや小玉傾向。生育進度が早く12月上旬から各産地とも出荷量が増え、年内の出荷量は前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。
かき類	1,740	105	2,707	380	80	286	36	2.1	福岡、奈良、岐阜、愛媛、和歌山産が中心となる。品種は富有柿が約8割を占める。福岡、奈良の富有柿は12月中旬から冷蔵品に切り替わるが、在庫量は不作だった前年並みの見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回るが平年並みの見込み。
メロン類	973	105	1,060	740	100	789	1	0.1	熊本、静岡、宮崎産が中心となる。品種はアールスメロン、アンデスなど。熊本は作付面積は前年並みで生育は順調、この時期のアンデスのほぼ全量を占める。静岡は作付は前年並、生育は順調で6玉8～9kg台中心の見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。
ほしがき	608	80	655	1,866	110	1,701	44	7.2	長野、山梨、富山、山形産が中心となる。長野は全体に小玉傾向で不作だった前年よりさらに生産量は少なくなる見込み。各地とも気温高で乾燥が進まず、例年より出荷時期が後にずれている。全体の入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
西洋なし(ラ・フランス)	492	95	670	343	105	287	470	95.5	山形産中心の入荷でほぼ全量を占める。品質的に目立ったマイナス点がみられず、過去数年でも最もレベルが高い評価が得られそう。冷蔵物を順次選果しながらの出荷で、12月後半価格が上昇して終盤を迎えると予想。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年よりかなり上回る見込み。